

平成24年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、誰もが利用しやすい施設整備や製品開発などの活動を広く促進し、普及させるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインの優れた取組に対して表彰を行っています。

今年度の内閣総理大臣表彰を受賞された「シナノケンシ株式会社」は、デジタル録音図書読書機の開発に積極的に取り組み、視覚障害者の社会参加の一助を担ってこられました。また、「社会福祉法人全国手話研修センター」は、手話通訳事業や障害者福祉サービス事業など社会貢献事業に取り組み、障害者が働きやすい職場を実現されました。どちらも長年にわたる地道な取組の積み重ねが、素晴らしい成果へとつながっているものです。

また、内閣府特命担当大臣表彰優良賞の5件、そして同奨励賞の1件につきましても、それぞれ、全国各地で参考にしていただきたい優れた活動を行ってきた団体が選ばれています。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集をご活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「共生社会」の実現に向けた心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



平成25年3月
内閣府

講 評

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会
委員長 高橋 儀平



平成24年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」14件、「製品開発」4件、「活動等」20件、計38件の応募がありました。あらためてご推薦いただいた全国の各団体の皆様へ深くお礼申し上げます。ご推薦いただいた各事例はいずれも甲乙つけがたい優れたものばかりで、選考委員による慎重な応募書類審査を経て全員の協議により表彰対象候補を10事例に絞り込みました。その10事例のすべてに対して現地訪問調査を実施、最終的に特に優れた8事例を表彰候補として選考しました。特に現地訪問調査では応募書類の確認と同時に、応募書類では捉えられない情報の収集に努め、また同時に新たな発見があり沢山の感動を得てきたことをここに報告します。

今回で11回目を数える本表彰は、わが国のバリアフリー、ユニバーサルデザインに特に優れた功績を残された方々の先駆的活動や技術開発、最新施設事例を都道府県、政令指定都市及び関係省庁の推薦を経て選考し表彰してきました。この間の多様な表彰事例を見て頂きますと世界最先端の少子高齢社会を導くに相応しい、特長ある我が国の進んだバリアフリー、ユニバーサルデザイン社会の足跡がしっかりと刻まれていることに気がきます。しかも毎年のように新たなバリアフリー、ユニバーサルデザインに関する特筆すべき活動、施設整備、製品等が生まれ、継続されています。

本表彰の要領でも示しているように、本表彰は「高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する」事例を表彰することを目的としています。この総合的に推進するというキーワードの中で、強調しておきたいのは、やはり市民の参加と活動の継続の視点です。バリアフリーやユニバーサルデザインは市民一人ひとりへの対応から出発しますし、そのためには何よりも市民の「参加と継続」が重要です。

本年度は「シナノケンシ株式会社」と「社会福祉法人全国手話研修センター」が内閣総理大臣表彰を受賞されました。二つの事例とも長年にわたり視覚障がい者や聴覚障がい者の方々のふつうの生活環境をしっかりと構築する多様な活動が顕著な功績として高く評価されました。これらの団体をはじめ、今回表彰された諸活動、施設整備等の取組に係わられた皆様へ深く敬意を表します。残念ながら今回表彰対象にもれた他の事例も、これからの社会をリードする優れたバリアフリー、ユニバーサルデザイン活動等の事例であることは間違いありません。さらなる発展を期待します。

最後に、今回の表彰においてご協力をいただいたすべての皆様へ、心より御礼申し上げますとともに、各地のバリアフリー、ユニバーサルデザインに関する取組が一層推進されることを願い、全体講評とさせていただきます。

目次

内閣総理大臣表彰 (2件)

シナノケンシ株式会社	1
社会福祉法人 全国手話研修センター	2

内閣府特命担当大臣表彰優良賞 (5件)

NPO 法人 UD くまもと	3
埼玉県警察本部交通部交通規制課	4
社会福祉法人 太陽の家 サンストア	5
日進市立図書館	6
南医療生活協同組合	7

内閣府特命担当大臣表彰奨励賞 (1件)

早稲田大学 ボランティアサークル 積木の会	8
-----------------------	---

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会委員名簿	9
平成24年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考経過	9
過去の受賞事例	10

内閣総理大臣
表彰

厚生労働省推薦

シナノケンシ株式会社

(長野県上田市)

全国の点字図書館等の視覚障害者情報提供施設で貸し出されるDAISY(デージー)形式(注)の録音図書に対応したデジタル録音図書読書機「プレクストーク」を開発・販売。情報バリアフリーを実現し視覚障害者の自立、社会参加、就学及び就労支援に貢献。

(注) DAISY(Digital Accessible Information System)形式とは、デジタル録音図書の国際標準規格。

録音図書のデジタル化検討の段階から、日本を含む世界各国の視覚障害者向け図書館関係者と連携をとり、デジタル録音図書読書機の試作機開発を通じて、DAISYの国際標準化に貢献した。また、DAISY形式の録音図書に対応したデジタル録音図書読書機「プレクストーク」を開発・販売し、暗眼者と同等の読書環境を視覚障害者に対して提供することで、情報バリアフリーを実現し視覚障害者の自立、社会参加、就学及び就労支援に貢献している。

常に視覚障害者や支援団体等の意見要望を取り入れ、製品開発に反映させるとともに、製品の操作方法の指導講習等も行っており、視覚障害者の生活の質の向上に貢献している。日本国内におけるデジタル録音図書読書機の市場シェア90%以上、世界でも約50%(同社調べ)を持ち、日本が世界に誇れる福祉機器開発企業である。

近年、視覚障害者のみならず、発達障害者、知的障害者のニーズへの取組も行っており、今後の更なる発展が期待できる。



プレクストークシリーズ 他



工場での生産風景